

## 令和3年度第4回鳥取県建設工事等入札・契約審議会概要

日時：令和4年3月14日（月） 13：30～15：30

場所：鳥取県庁 議会棟3階 特別会議室（Web会議）

出席委員：池谷委員、谷口委員、徳田委員、中治委員、堀委員、松下委員

### 1 入札・契約手続の運用状況について

各委員から選定された案件について、担当課が説明を行った。

#### (1) 県立青谷高等学校普通特別教室棟窓外壁ほか改修工事に係る実施設計委託

＜鳥取県土整備事務所＞

##### 【選定理由】

落札率が72.1%と低いが失格若しくは低入札価格調査の結果やその確認状況を知りたい。

##### 【説明】

本件は失格基準価格制度、低入札価格調査制度の対象業務ではないため、入札は有効である。

しかしながら、本件は成果品重点確認価格制度の対象であるため、今回の入札額は成果品重点確認価格を下回る価格であるため、受注者は成果品の品質を確保するための重点配置技術者を配置している。

また、業務の節目ごとに確認を行い、2名体制で検査することにより、品質を確保している。

#### (2) 林業試験場GutHolz全天候型実習施設新築工事 <鳥取県土整備事務所>

##### 【選定理由】

どんな建物が建ったのか。8%ほど安くすんでいる内容は。

##### 【説明】

「GutHolz」（グートホルツ）はとっとり林業技術訓練センターの愛称で、木材伐倒等のチェーンソー作業における安全対策の向上のため、全天候型実習施設を整備し、研修・訓練の高度化と拡充を図り、これにより林業労働災害の根絶に向けた取組を推進していくための施設である。

特徴は内部での木材伐倒等の訓練のために軒高が6mと高く、訓練資材の搬入などのために4面に大きな開口を設けた開放的な建築物である。

受注金額については、受注者から提出された工事費内訳書によれば、一般管理費が低くおさえられていることから、企業努力を図り応札を行ったものと考えられる。

なお工事は、外構工事を残しほぼ完成しており、出来形、品質ともに設計図書を満足し良好な状態で進捗している。

**(3) 西大路排水機場修繕工事（3工区）（交付金） <河川課>**

**【選定理由】**

落札率99.9%だが、特殊な工事である故、機器類を見積る際に業者見積を使用したか。  
また、応札したのは何社か？見積した業者が応札者となっていないか。

**【説明】**

「鳥取県県土整備部設計単価決定要領」に基づき特別調査及び同種実績を有する業者(計6者)に対して見積依頼を行った。このうち同種実績を有する業者(計6者)の中で回答があったのは1者のみで、その他の5者は辞退された。応札された業者も、見積した業者であった。

- (委員) 現在使用している機器類メーカーからしか見積の回答がないが、その見積は精査したか。  
(県) その見積をそのまま使用するわけではなく、特別調査を行った結果と比較して予定価格を算定している。  
(委員) 同等品でも可能な入札か。  
(県) 同等品でもよいが、既存機器の修繕であるため、既存機器の使用は明示し、その結果応札者は1者であった。

**(4) 水貫川河川改修工事（2工区）（補助） <河川課>**

**【選定理由】**

JVは何組か。予定価格事前公表なく100%、積算公表ができればお願いしたい。

**【説明】**

入札参加者は共同企業体で、構成員数は2者を要件としている。  
入札を行った結果、入札参加条件を満たす1共同企業体から応札があった。  
予定価格は鳥取県建設工事等の予定価格事後公表試行要領に基づき事後公表としており、ほぼ同額での応札であったが、入札時に提出のあった工事内訳書を審査したところ、適正に積算されていたため、落札者として決定したものである。

●設計金額及び見積金額の内訳

工事名：水貫川河川改修工事（2工区）（補助）			
費目	設計金額	見積金額	割合
直接工事費	286,364,435	286,364,439	100.00%
共通仮設費	39,031,892	39,031,892	100.00%
現場管理費	78,412,000	78,412,000	100.00%
一般管理費	46,545,673	46,191,669	99.24%
合計（税抜）	450,354,000	450,000,000	99.92%

- (委員) 予定価格が事後公表であるが、応札額が100%となっている。結果として100%であったということか。  
(県) 事後公表であるが、算定式、資材単価、労務単価等は公表されており、積算能力の高い業者であれば、予定価格の算出は可能である。

**(5) 鳥取市布勢地内外交通信号機改良工事、西伯郡日吉津村日吉津地内外交通信号機改良工事、  
鳥取市伏野地内外管制端末設備等改修工事 <鳥取県警察本部>**

**【選定理由】**

「鳥取市布勢地内外交通信号機改良工事」と「西伯郡日吉津村日吉津地内外交通信号機改良工事」は同種の内容の工事と思われるが、落札率が異なっている。また、「鳥取市布勢地内外交通信号機改良工事」と「鳥取市伏野地内外管制端末設備等改修工事」は同一の業者が落札しているが、落札率が異なっている。これらの違いが生じた理由について確認したい。

**【説明】**

「鳥取市布勢地内外交通信号機改良工事」と「西伯郡日吉津村日吉津地内外交通信号機改良工事」は、ともに交通信号機設備の老朽化に伴う各種信号機器の更新等を主体とする工事である。

「鳥取市布勢地内外交通信号機改良工事」の公募条件は東部地区・格付A級とし、3者が入札したが、その内2者は最低制限価格以下の金額で入札したため失格となったことから、「株式会社とりでん」が落札率92.1%で落札者となったもの。

「西伯郡日吉津村日吉津地内外交通信号機改良工事」の公募条件は県内・格付A級とし、予定価格と同額で入札した「有限会社新生電気工事」の1者しか入札参加者がなく、結果として落札率100.0%となったもの。同工事は、中部地区と西部地区の信号機の改良を行うため、米子の業者が請け負う場合、経費はややかさんでくるものと推測するが、同種工事であっても、信号機材の仕入れ価格や人件費、諸経費など、企業ごとに工事金額は異なるため落札率が異なったものと推測する。

また、「鳥取市布勢地内外交通信号機改良工事」と「鳥取市伏野地内外管制端末設備等改修工事」は、ともに「株式会社とりでん」が落札しているが、「鳥取市伏野地内外管制端末設備等改修工事」の公募条件は同様に東部地区・格付A級とし、2者が入札に参加したが、その内1者は「株式会社とりでん」より低い金額で入札しているところ、内訳書不備のため失格となったため、結果として予定価格と同額で入札した「株式会社とりでん」が落札者となっている。工事内容によって信号機材の規格や数量及び人件費などが異なるため、同一業者であっても落札率は異なるものであるが、「鳥取市布勢地内外交通信号機改良工事」を請け負っている状態であったので、積極的に入札額を下げた状況ではなかったと推測する。

(委員) 共通仮設費の見積額が設計額よりも2～6割高くなっている。設計額の精査を行う必要があるのではないか。

(県) 内訳書を確認し、適切に施工できると判断したところであるが、今後は適切に積算となるよう精査検討していきたい。

**(6) 建築物外壁診断委託（中部地区1）、（中部地区2）、（西部地区） <営繕課>**

**【選定理由】**

予定価格の算出基準は、現地調査を行って算出したか。図面上での算出か。

**【説明】**

予定価格の算出に係る調査費は、現地調査の上で調査範囲を決定し、建築保全業務積算基準を参考に計上している。

また、調査に必要な仮設費は、別途算出の上、調査費に加算し合計額を予定価格としており、想定している仮設等を記載した施設全体配置図や対象棟平面図、立面図を応札者へ資料提供している。（仮設費は鳥取県公共工事積算基準を準用して算出。）

- (7) 青谷かみじち史跡公園展示ガイダンス施設新築工事（重要文化財棟・建築）  
 青谷かみじち史跡公園展示ガイダンス施設新築工事（ガイダンス棟・建築）  
 青谷かみじち史跡公園展示ガイダンス施設ほか新築工事（電気設備工事）  
 青谷かみじち史跡公園展示ガイダンス施設ほか新築工事（機械設備工事）  
 青谷かみじち史跡公園展示ガイダンス施設新築工事（昇降機設備工事）  
 青谷かみじち史跡公園展示ガイダンス施設新築工事（ガス消火設備工事） <営繕課>

【選定理由】

どんな建物が建つのか。消防施設のほかは8～9%と安い、どこで差があるか。

【説明】

当工事は、国史跡青谷上寺地遺跡の史跡公園整備事業における拠点及び当該遺跡における最新の研究成果の情報公開の場として、展示ガイダンス施設等の建設を行うものである。

発注方法は、建築工事を棟ごとに、設備工事を電気設備工事、機械設備工事、昇降機設備工事（以下「建築等工事」という。）及びガス消火設備工事に分離して行った。

ガス消火設備とは、主に重要文化財を保管・展示する室に対し、火災時に不活性ガスを噴射し消火するものである。これは重要文化財を損傷させないよう、国が定めた施設基準に従った仕様であるが、一般的な建築物にはない消火設備であり、非常に専門性の高い特殊なものである。

このため、発注の際には建設業法に基づく専門業種である「消防施設工事」の許可を有する者を対象とした。

一方、建築等工事の仕様も国が定めた施設基準によるものであるが、例えば、コンクリート打設後に乾燥期間を設けること、重要文化財展示・保管室内を二重壁仕様にするなどの基準であり、施工としては一般的なものとなる。

以上のとおり、ガス消火設備工事は建築等工事と比較して特殊性及び専門性の高い仕様であることから、落札率が高くなったと考えられる。

【低価格入札対策について】

低価格入札対策について、委員に説明し、理解が得られた。

<建設工事>

土木一般、建築一般とも適用される内容は同じ。

- 2億円未満（建築一般は4億円未満）の工事

価格競争入札：最低制限価格制度を適用。最低制限価格を下回る場合に失格となる。

総合評価入札：低入札価格調査制度を適用。調査基準価格を下回る場合に低入札価格調査の対象となり、さらに失格基準を下回る場合に失格となる。

- 2億円以上（建築一般は4億円以上）の工事

価格競争入札、総合評価入札とも低入札価格調査制度を適用。

<測量等業務>

建築設計業務とそれ以外で適用される内容が異なる。

- 測量、土木コン、地質及び補償コン業務（100万円以上の業務）

成果品重点確認制度：成果品重点確認価格を下回る場合に成果品重点確認業務となり、さらに調査基準価格を下回る場合に低入札価格調査の対象となり、失格基準は設定していない。

- 建築設計業務（100万円以上の業務）

成果品重点確認制度は、測量・土木コン等と同様に適用される。

低入札価格調査制度（調査基準価格）は、予定価格900万円以上の総合評価入札にのみに適用される。失格基準は設定していない。